

ちば

# 印旛健康福祉センター の概要について

2022(令和4)年11月2日(水)  
印旛健康福祉センター(印旛保健所)



# 千葉県衛生行政区画

# 1. 組織

# センターの組織と業務

## 【保健所】

- **総務課**→庶務、広報・啓発、地域防災
- **企画課**→医務、薬務、地域保健医療計画、情報収集（統計）、地域防災（災害時医療等）
- **地域保健課**→母子保健、成人・老人保健、精神保健、栄養改善、難病対策等
- **疾病対策課**→結核予防、感染症予防、エイズ対策等
- **生活衛生課**→食品衛生、動物愛護管理、環境衛生等
- **食品機動監視課**→食品衛生監視
- **検査課**→細菌検査、食品衛生検査等

## 【福祉事務所】

- **生活保護課**→生活保護の事務（酒々井町、栄町）
- **地域福祉課**→母子父子寡婦福祉資金、DV相談など
- **監査指導課**→社会福祉法人の監査（印旛・香取・海匝）

# 印旛健康福祉センターの職員数

職種	職員数	内・成田支所
行政職	41名	5名
技術職	56名	12名
合計	97名	17名
(再掲) 医師	1名	0名
獣医師	7名	2名
薬剤師	11名	3名
保健師	23名	6名
管理栄養士	5名	0名
臨床検査技師	5名	1名
診療放射線技師	1名	0名
看護師	2名	0名
栄養士	1名	0名

(令和4年10月31日現在)

## 2. 結核・感染症

# 結核新登録者数、罹患率の年次推移

(年)	H15	H20	H25	H30	R1	R2	R3
新登録者数	120	86	77	93	78	38	66
罹患率(管内) (人口 10 万対)	18.2	12.3	10.9	13.0	10.9	5.3	9.2
罹患率(県)	22.9	17.7	14.8	12.0	11.1	9.7	8.7
罹患率(国)	24.8	19.4	16.1	12.3	11.5	10.1	9.2

2021年結核罹患率(人口10万対)が10を切り結核低蔓延国になった。

# 千葉県結核対策プラン(H29.3)の概要

結核対策の重点対象を患者に置き、患者とその家族を大切にすることを対策の基本とする

## 3つの柱

患者の早期発見

感染拡大の防止

治療の完了

## 5つのポイント

受診の遅れ  
を低減

診断の遅れ  
をなくす

DOTSの  
推進

治療完了  
までの支援

接触者健診  
の徹底

DOTSとは服薬支援のこと

# 令和3年感染症(結核以外)届出件数

【新型インフルエンザ等感染症】

新型コロナウイルス感染症：12,383名

【3類感染症】 腸管出血性大腸菌感染症：11名

【4類感染症】 レジオネラ症：6名

デング熱：2名、マラリア：1名

日本紅斑熱：1名

E型肝炎：2名, A型肝炎：1名

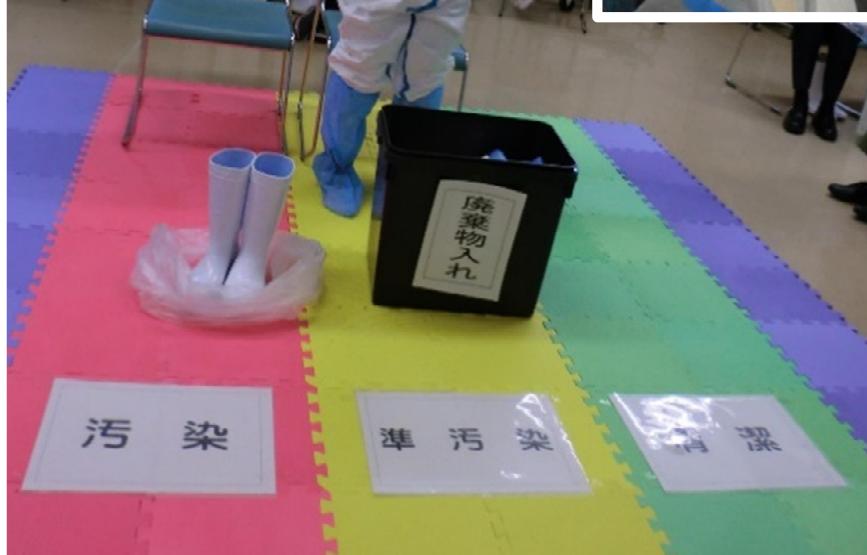
【5類感染症】 麻しん：5名、風しん：9名、梅毒:27名他

管内の定点医療機関からの報告状況

【5類(定点)】 感染性胃腸炎：2,413名

インフルエンザ：5名 (令和1年 11,460名)他

# MERS・新型インフルエンザ等に備え 感染防護服着脱訓練・患者搬送訓練



### 3. 食品衛生

# 令和3年度実績

P. 123～  
P. 154～

- ・ 食品営業許可件数：8, 246件  
飲食店営業：5, 285件  
菓子製造業： 894件 等
- ・ 監視件数 ※（ ）は食品機動監視課実績の再掲  
総数 1, 701 (399) 件  
飲食店営業：1, 032 (152) 件  
菓子製造業： 197 ( 49) 件 等
- ・ 食中毒発生件数：1件  
原因施設：集団給食施設  
原因食品：給食施設の料理  
病院物質：カンピロバクター  
患者数：14名
- ・ 食品関係苦情数：50件  
異物混入：14件、施設衛生12件 等

P. 130

P. 161

## ・食中毒等の事故防止対策

(1) 夏の食品安全推進月間の実施（厚生労働省）

7月16日から8月15日

(2) 食中毒予防強調月間の実施（千葉県）

8月 1日から8月31日

(3) 食中毒警報等発令制度の実施

食中毒注意報

6月 1日から9月30日

食中毒警報

7月20日から9月30日

## ・衛生教育実施状況

(単位：件・人)

対象者	回数	受講者数
消費者	—	—
食品等事業者	7(2)	286(151)

※( )は食品機動監視課実績の再掲

## 4. 動物愛護管理

# 適正飼養の普及

P. 131~

○ こう傷事故

※ ( ) 成田支所管内数再掲

総数：41 (13) 件

○ 指導等(件数)

	飼養に関する指導・助言	苦情
犬	238 (81)	254 (76)
猫	337 (73)	145 (83)
その他	53 (39)	34 (6)
総数	628 (193)	433 (165)

○ 動物取扱業施設数及び立入検査状況

第一種動物取扱業：事業所数：406 (118) 件

監視件数：224 ( 90) 件

特定動物の飼養及び保管：許可数： 69 (53) 件

監視件数：26 (13) 件

# 多頭飼育事案への対応

○平成27年度～

- ・管内一般家庭で小型犬の多頭飼育
  - 近隣住民からの苦情受理
  - 指導を重ねるも状況改善されず

○令和3年度

- ・関係機関と連携して解決策を模索
  - 佐倉警察署の家宅捜索に同行
  - 改めて、動物の愛護及び管理に関する法律に基づく「引取り」手続きを促し、221頭中198頭を保護（※）
  - 飼養状況の確認を継続

※県動物愛護センターに登録のある譲渡等に関する団体の協力を得て、収容後2週間ほどで全頭譲渡

# 5. 環境衛生

# 令和3年度実績

P. 135~

- 生活衛生関係営業の衛生指導 ※（ ）支所分再掲  
理容所、美容所、クリーニング所、  
旅館、公衆浴場、興行場  
施設総数：2,096（668）施設  
監視件数： 101（ 88）件
  - 遊泳用プールの衛生指導  
施設総数：60（20）施設  
監視件数： 8（ 7）件
  - 苦情および相談  
受理件数：659（401）件  
(美容所、旅館・ホテル等)

# 6. 精神保健福祉

# 主要事業

P. 59

- 相談・援助
  - 精神保健福祉相談員、保健師による電話、面接等
  - 精神科医師による定例相談（予約制）
- 精神保健福祉法に基づく通報、診察、入院
  - 警察官等による通報、措置診察・入院
- 市町等関係機関との連携、協力
- 自立支援
  - 障害者総合支援法による総合的な支援（通院医療、居宅生活支援等）の調整等
- 組織活動への助言、支援
  - 患者家族会
- 普及啓発
  - こころの健康づくり、精神障害への正しい理解の普及等

# 措置入院

P. 60

自傷他害のおそれのある精神患者が対象

精神保健指定医2名が診察を実施し、2名共入院の必要ありと診断した場合

知事の権限で入院

保健所への通報 82件 (内、警察46件)



保健所の調査



精神保健指定医の診察 58件 (全通報数の71%)



要措置入院 52件 (全通報数の61%)

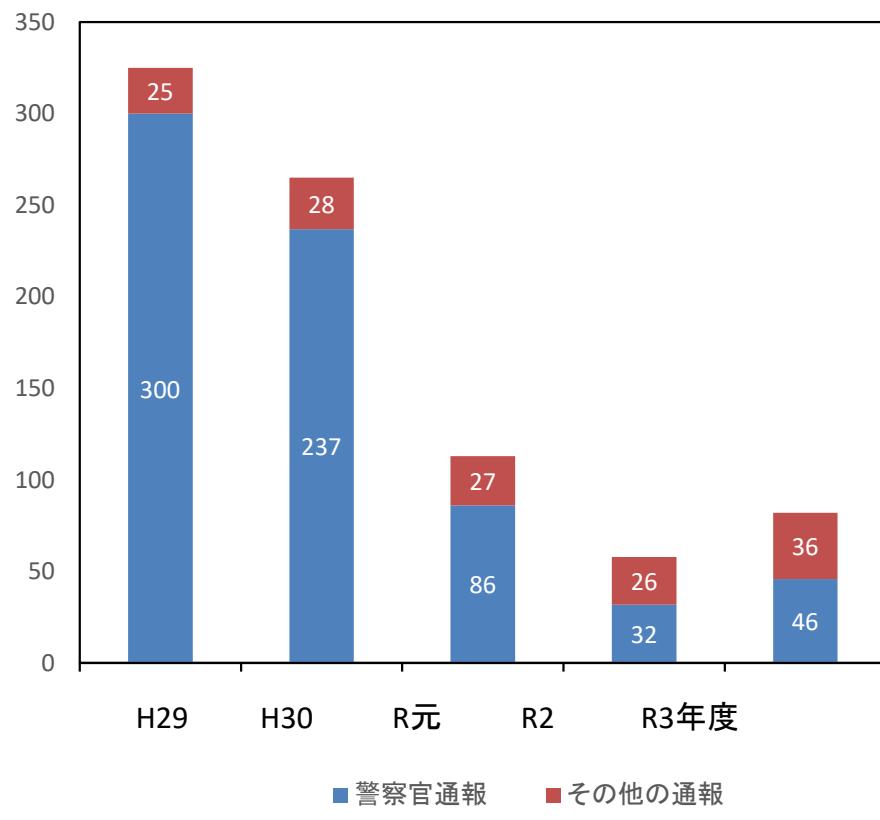


入院医療機関への搬送

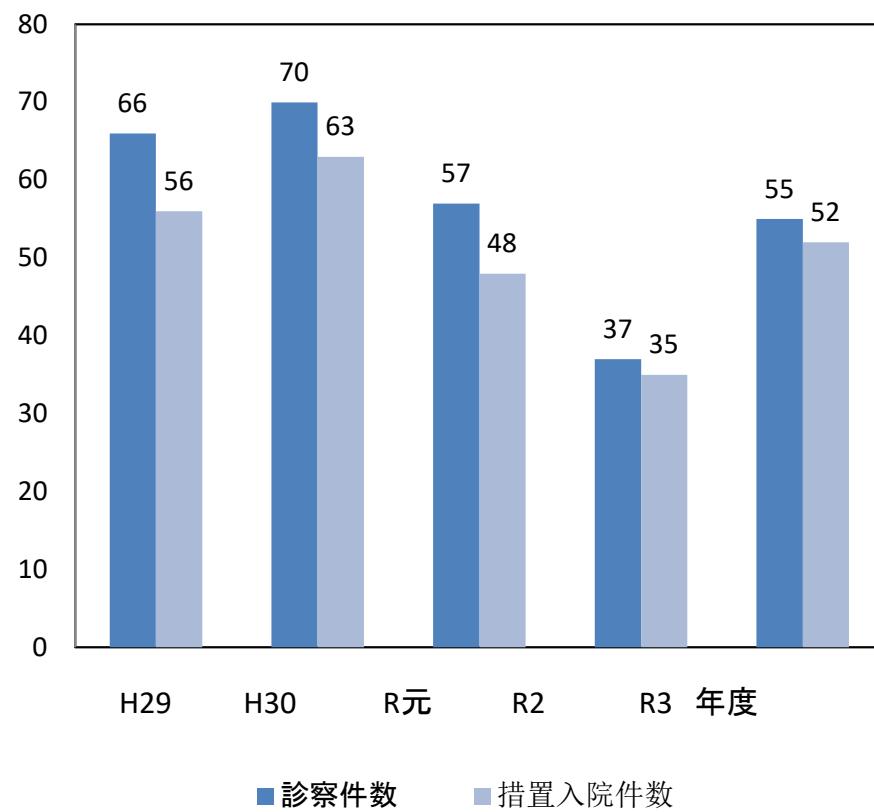
# 印旛保健所の通報件数

P. 60

通報件数



診察件数、措置入院件数



## 7. 難病・小兒慢性特定疾病

# 難病対策事業

昭和48年 特定疾患治療研究事業開始

平成27年1月1日

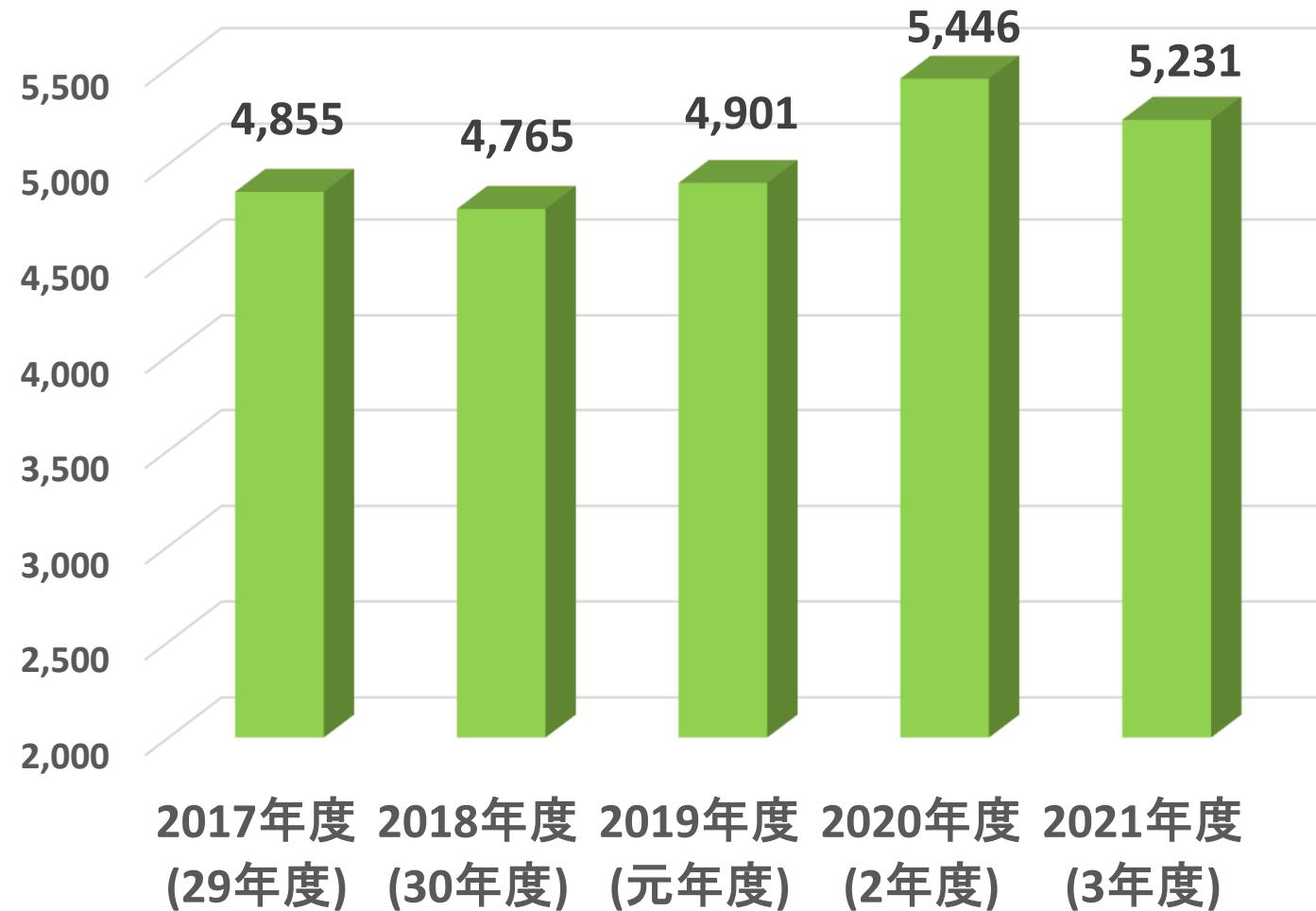
「難病の患者に対する医療等に関する法律」施行

- ・ 対象 338疾病
- ・ 毎年、更新申請が必要

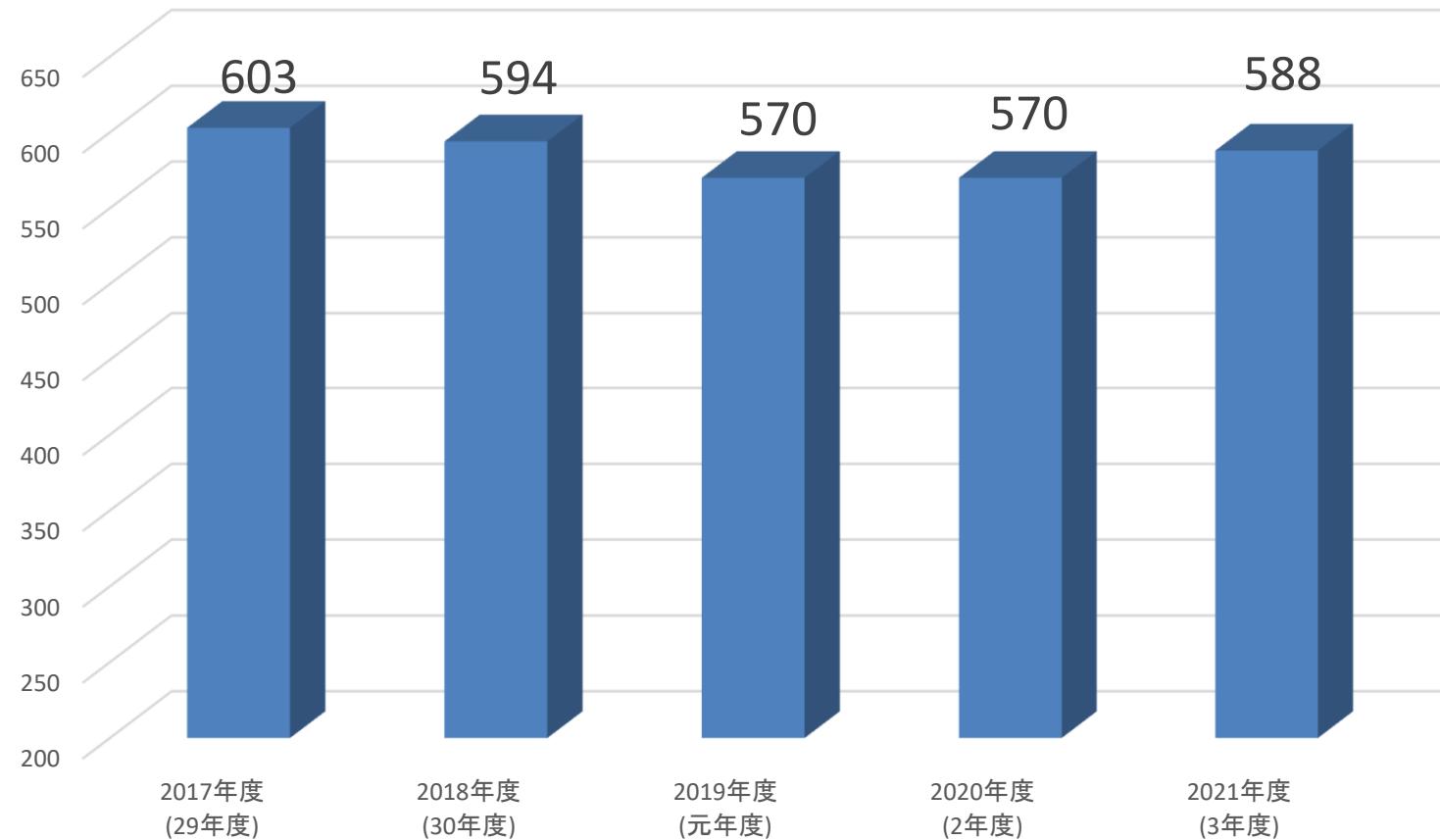
## 難病法

- ①公平かつ安定的な制度を確立
- ②基本方針の策定
- ③調査及び研究の推進
- ④療養生活環境整備事業の実施等

# 特定医療費（指定難病）受給件数



# 小兒慢性特定疾病医療費支援制度受給者件数



## 8. 薬物乱用防止

## ○ 薬物乱用防止指導員(印旛健康福祉センター)地区協議会

- 目的

地域社会に根ざした覚醒剤等薬物乱用防止啓発活動を効果的に行うことによって、薬物乱用を許さない社会環境づくりを行う。

- 構成

各健康福祉センター管内ごとに設置。

管内市町から推薦された薬物乱用防止指導員(印旛地区52名)が所属。

## ○ 主な活動内容

- 街頭キャンペーン 年2回(夏、冬)

令和3年度:新型コロナウイルス感染症の拡大により中止

※ 令和元年度:JR佐倉駅及び京成成田駅において実施

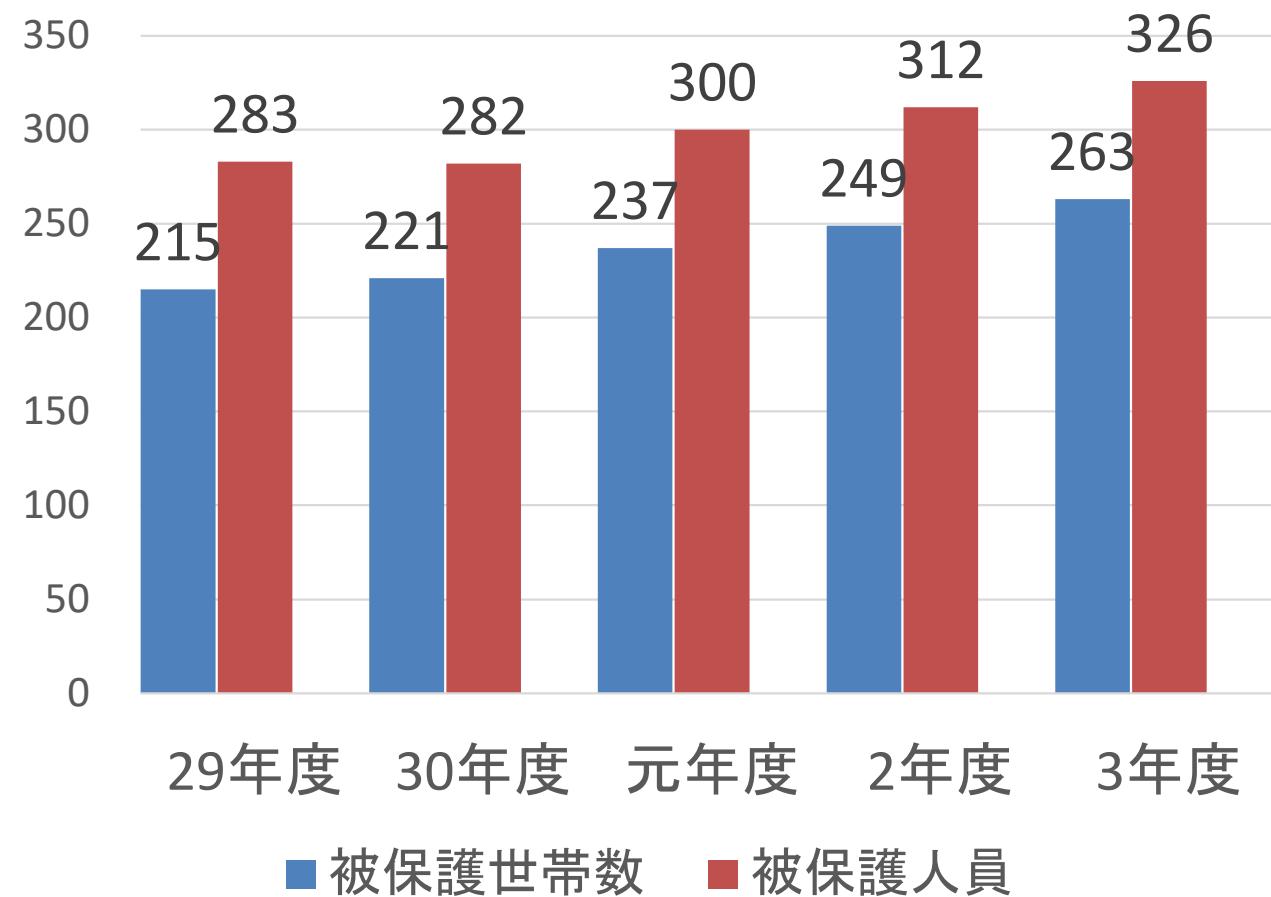
- 薬物乱用防止教室の開催

令和3年度:13校(小学校11、中学校2)

- 各地域での集会等における啓発活動

# 9. 生活保護

# 生活保護件数（対象：酒々井町・栄町）



生活保護の割合  
8.05%(人口あたり)  
単身の高齢者世帯  
全世帯の54.8%

# 保護率の位置づけ（令和3年8月時点） (都道府県別保護率)

	地域	保護率
1位	大阪府	3. 06%
2位	北海道	2. 93%
3位	沖縄県	2. 64%
19位	千葉県	1. 41%
47位	富山県	0. 39%

注) 全国平均は1. 63% (人口百人あたり1. 63人)  
厚生労働省資料より 数値は速報 指定都市・中核市含む

## 10. その他の福祉事業

## ○ 母子父子寡婦福祉資金

母子・父子家庭及び寡婦の経済的自立と生活意欲の助長及びその児童の福祉向上を図ることを目的として、各種資金の貸付を行っています。

◆貸付決定額 修学資金： 2件（2,784千円）

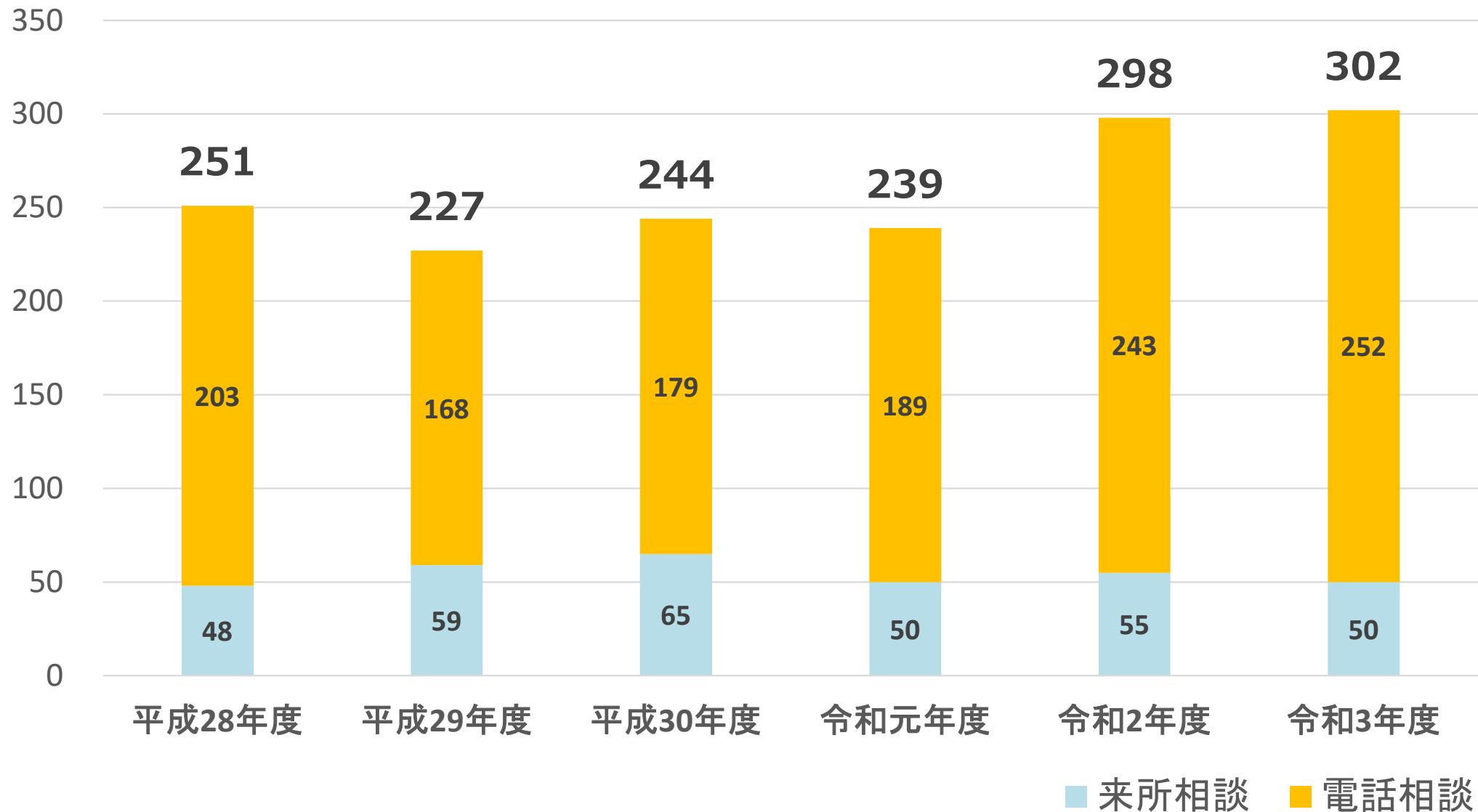
## ○ 配偶者暴力相談支援事業

配偶者からの暴力等に悩んでいる方からの相談を受け、必要な助言や情報提供を行っています。また、配偶者暴力相談支援センターとして、避難後の支援、保護命令申立ての支援、一時保護の援助等を行っています。

また、広報について、千葉県では各自治体、運転免許センター、病院等に名刺大のDV相談カードを、また、公共機関にステッカーを配布して女子トイレ等に貼付し、広報啓発を行っています。

# 印旛健康福祉センターにおける DV(配偶者等からの暴力)相談件数

P. 89



# 11. 新型コロナウィルス 感染症について

# 陽性者発生推移（千葉県・東京都 陽性者数比較）

(人)

50,000

<第5波>

<第6波>

<第7波>

40,000

30,000

20,000

10,000

0

8/13  
5908

8/20  
1777

2/2  
2157  
6

2/10  
6601

7/28  
4040  
6

7/28  
1177  
5

8月1日

9月1日

10月1日

11月1日

12月1日

1月1日

2月1日

3月1日

4月1日

5月1日

6月1日

7月1日

8月1日

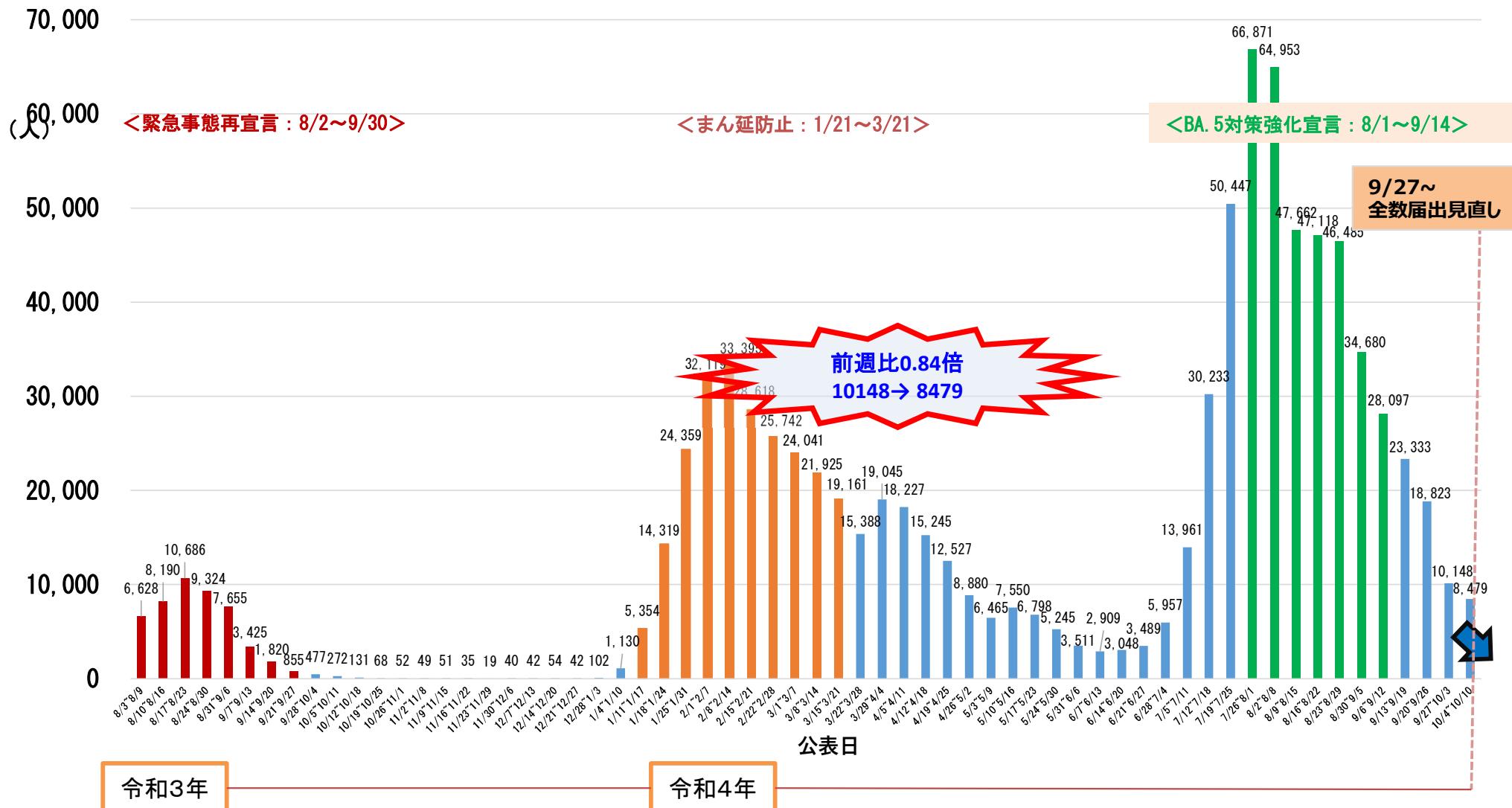
9月1日

10月1日

■千葉県 ■東京都

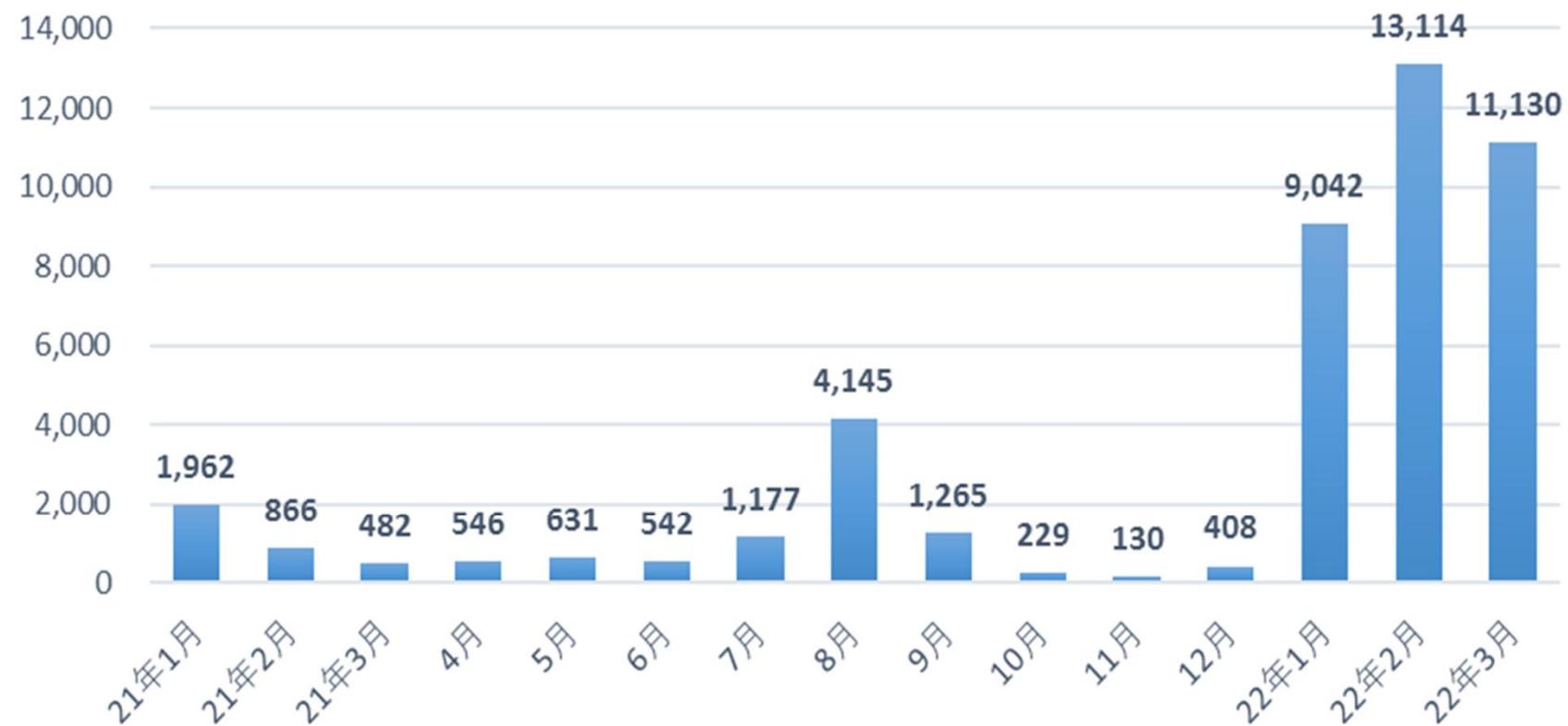
公表日

# 新型コロナウイルス感染症



# 印旛保健所管内の発生状況

(令和3年1月～令和3年12月の発生数 = 12,383)  
(令和3年4月～令和4年3月の発生数 = 42,359)



※R4.4.4にHER-SYSからダウンロードしたデータを使用。